

たまちゃん通信

平成 30 年 4 月発行 98-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

地域のボランティア活動に参加

神田お手玉の会が認知症予防に貢献

神田お手玉の会(石川喜助会長)は、昨年 7 月、日本のお手玉の会の支部として仲間入りしました。2014年に、社会福祉法人千代田区福祉協議会のボランティアグループとして登録し、毎月1回、認知症の予防や、スポーツの集中力を高めるなど、脳の活性化に期待が持てるお手玉を、区民のみなさんに紹介



しています。(写真右:会員のみなさん)



支部結成のいきさつを、石川会長は、次のように話しています。(写真左:2020東京五輪の法被を着た宮中会長(左)と石川さん)

「テレビを見ていて、お手玉が認知症の予防に効果があるということを知りました。親族に軽い認知症の者がいることから、テレビで話していた中原和彦医学博士(日本のお手玉の会顧問)に電話をしたところ、東京在住の日本のお手玉の会の宮中雲子会長をご紹介いただきました。早速、宮中会長に連絡をして、ご指導をいただくことになりました。これが、神田お手玉の会発足のいきさつです」



認知症の予防とスマホ依存への対策

それ以来、石川会長は、ちよだボランティアセンター発行の機関紙『ボランティア』を通じて、会員の募集をする一方、宮中会長を講師に招いて「お手玉教室」を開きました。回を重ねるごとに参加者が増えていきました。

平成 25 年に会を設立し、宮中会長をはじめ日本のお手玉の会の先輩の方々に講師をお願いして、毎年 6 回以上の活動を行い、ちよだボランティア活動の登録団体に認定されました。

そして、昨年 7 月、日本のお手玉の会の支部として、神田お手玉の会が誕生したのです。

最近、宮川陽子副会長、金井勝芳さん、佐橋健一さん両幹事の支援があって助かっています。こうした協力を得ながら、高齢者の認知症予防や、健康寿命を延ばす手段として、また、子どもさんや若い人たちのスマホによる脳の疲れを改善するための手段として、お手玉の普及活動に取り組んでいます。(写真上:真剣な表情で、お手玉の練習に励む宮川陽子副会長(左))